

健康保険 被保険者報酬月額変更届  
厚生年金保険  
厚生年金保険 70歳以上被用者月額変更届

※ポイント

固定的賃金	↑	↑	↓	↓
標準報酬(二等級以上)	↑	↓	↓	↑
該当、非該当の判定	○	×	○	×

令和 ●年●月●日提出

この届書を健康保険組合、年金事務所または事務センターへ提出する日を記入します。

提出者記入欄

健康保険被保険者証記号 ●●●●●●●●●●  
厚生年金保険事業所整理記号 ●●●●●●●●●●

事業所所在地 〒550-0021 大阪府大阪市川口●●●●

事業所名称 西プラ工業株式会社

事業主氏名 健保 一郎

健康保険被保険者の記号・番号と厚生年金保険事業所整理記号・被保険者整理番号を必ず記入します。

届出用紙の切替中であるため、「㊟」の表示がある用紙を使用していますが、「㊟」の表示がある場合も押印は不要です。

社会保険労務士記載欄

氏名等

㊟ 昇給または降給のあった月の支給月を記入し、該当する昇給または降給の区分を○で囲みます。

㊟ 現在の標準報酬月額を千円単位で記入します。  
㊟ 適用された年月を記入します。

㊟ 変動後の賃金を支払った月から4か月目の年月を記入します。

目名	⑨ 給与支給月	⑩ 給与計算の基礎日数	⑪ 通貨によるもの額	⑫ 現物によるもの額	⑬ 合計(⑪+⑫)	⑭ 平均額	⑮ 修正平均額	⑯ 平均額	⑰ 修正平均額
----	---------	-------------	------------	------------	-----------	-------	---------	-------	---------

1	健保 一郎	昭和7.平成	4.9.1.1.1.5.8.1	昇給	10月	2.降給	⑧ 適及支払額	⑬ 合計(⑪+⑫)	⑭ 総計	⑮ 平均額	⑯ 修正平均額	⑰ 平均額	⑱ 修正平均額
	⑤ 健 200 千円 厚 620 千円	⑥ 7年9月	⑦ 昇(降)給	⑧ 適及支払額	⑨ 支給月	⑩ 日数	⑪ 通貨	⑫ 現物	⑬ 合計(⑪+⑫)	⑭ 総計	⑮ 平均額	⑯ 修正平均額	⑰ 平均額
	10月 30日	1,430,000円	0円	1,430,000円	4,290,000円	1,430,000円	1,390千円	620千円					
	11月 31日	1,430,000円	0円	1,430,000円									
	12月 30日	1,430,000円	0円	1,430,000円									

㊟ 支払基礎日数が17日以上月の報酬の総計を記入します。

㊟ 1~6に該当する場合は、該当する項目を○で囲みます。

2	健保 次郎	昭和7.平成	6.0.0.9.2.8.8.1	昇給	10月	2.降給	⑧ 適及支払額	⑬ 合計(⑪+⑫)	⑭ 総計	⑮ 平均額	⑯ 修正平均額	⑰ 平均額	⑱ 修正平均額
	⑤ 健 200 千円 厚 200 千円	⑥ 7年9月	⑦ 昇(降)給	⑧ 適及支払額	⑨ 支給月	⑩ 日数	⑪ 通貨	⑫ 現物	⑬ 合計(⑪+⑫)	⑭ 総計	⑮ 平均額	⑯ 修正平均額	⑰ 平均額
	10月 30日	252,000円	0円	252,000円	720,000円	240,000円	240千円	240千円					
	11月 31日	234,000円	0円	234,000円									
	12月 30日	234,000円	0円	234,000円									

㊟ 標準報酬月額及び保険料負担額表に平均額をあてはめて記入します。

3	健保 三郎	昭和7.平成	0.2.0.8.2.3.8.1	昇給	10月	2.降給	⑧ 適及支払額	⑬ 合計(⑪+⑫)	⑭ 総計	⑮ 平均額	⑯ 修正平均額	⑰ 平均額	⑱ 修正平均額
	⑤ 健 200 千円 厚 190 千円	⑥ 7年9月	⑦ 昇(降)給	⑧ 適及支払額	⑨ 支給月	⑩ 日数	⑪ 通貨	⑫ 現物	⑬ 合計(⑪+⑫)	⑭ 総計	⑮ 平均額	⑯ 修正平均額	⑰ 平均額
	10月 30日	214,000円	0円	214,000円	651,000円	217,000円	220千円	220千円					
	11月 31日	222,000円	0円	222,000円									
	12月 30日	215,000円	0円	215,000円									

㊟ 変動後の賃金を支払った月から3か月を記入します。

㊟ 【厚年のみ：3枚目に記入】70歳以上被用者に該当する場合は、必ず、個人番号または基礎年金番号を記入します。

4	健保 花子	昭和7.平成	2.9.0.5.1.2.8.1	昇給	10月	2.降給	⑧ 適及支払額	⑬ 合計(⑪+⑫)	⑭ 総計	⑮ 平均額	⑯ 修正平均額	⑰ 平均額	⑱ 修正平均額
	⑤ 健 160 千円 厚 160 千円	⑥ 7年9月	⑦ 昇(降)給	⑧ 適及支払額	⑨ 支給月	⑩ 日数	⑪ 通貨	⑫ 現物	⑬ 合計(⑪+⑫)	⑭ 総計	⑮ 平均額	⑯ 修正平均額	⑰ 平均額
	10月 30日	160,600円	15,540円	176,140円									
	11月 31日	164,000円	15,540円	179,540円									
	12月 30日	166,800円	15,540円	182,340円									

※3枚目のこの部分(個人番号欄)

㊟ ⑬欄と⑭欄の合計額を各々の欄に記入します。

㊟ 各月の給与支払いの対象となった日数を記入します。例えば、月給者は暦日数、時給者・日給者は出勤日数を記入します。月給者で欠勤日数だけ給与が差し引かれる場合は、就業規則等により会社で定められた日数から欠勤日数を控除後の日数として記入します。

通貨で支払われた報酬をそれぞれの月に記入してください。銀行振込み等による場合も同様です。通勤手当等も報酬に含まれます。※昇給が遡ったため、昇給差額が支給されたときは、その額も合わせて記入し、㊟欄に昇(降)給、㊟欄適及支払額を記入します。

㊟ 10月・11月12月中に食事、住宅、通勤定期券など現物給与の支給がある場合に、金銭に換算して記入します。※食事、住宅については、「厚生労働大臣が定める現物給与の価額」に基づきます。

㊟ ㊟欄を支払基礎日数17以上の月数で割った額について1円未満切り捨てて記入します。短時間労働者については、11日以上の月の報酬を合計し、その月数で割った額を記入します。

改定月の異なる届出がある場合は、月額変更届を月毎に作成してください。